

地域包括支援センター課題対応取組み報告書

名称 大正区地域包括支援センター

カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等 <input type="checkbox"/> 社会資源の創設(居場所づくり等)
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援 <input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり
	<input type="checkbox"/> その他()
活動テーマ	潜在化する支援を必要とする高齢者の早期発見・早期対応をめざしたネットワーク構築の取組み
地域ケア会議から見てきた課題	地域ケア会議で取り上げられたケースの全員が認知症ありの判断がされており、発見されたときには問題が重症化し、疑いも含め虐待事案に至ったケースが約半数を占めた。さらに、複合的な課題を抱えた家族など、支援開始時点で既に問題が複雑化しているケースが後を絶たず、地域の支援者や専門職など多機関との連携の必要性が増している。
対象	圏域内の高齢者や家族 民生委員など地域の支援者
地域特性	圏域内に鉄道がなく、移動手段がバスのみと不便であるため、若い世代の流入は少なく、地域活動の担い手不足が課題である。また、鶴町地域では市営住宅の建て替えが進められており、リノベーションダメージや、転居により地域から孤立し、課題が潜在化する高齢者の増加が懸念される。
活動目標	認知症カフェという「居場所」を定着させることにより、認知症を含め支援の必要な高齢者の孤立を 방지、早期発見・早期対応につながる地域ネットワークを構築する。各地域に出向いての相談会を定例開催することで、地域包括支援センター(以下、「包括」という)の認知度を高めるとともに、地域関係者とのネットワークを強めることをめざす。
活動内容 (具体的取組み)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症カフェ「マロンカフェ」を毎月開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により開催困難な状況が続いた。そのため、代替として訪問・電話による安否確認を実施。3月には場所を屋外に変更することで開催した。 ・老人福祉センターにおいて、隔月で出張相談会を開催。(4月、6月は中止) ・平尾商店街の協力により開催していた「平尾なんでも相談会」は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となったが、代替として、商店街の空き店舗を借りて掲示による啓発活動を行った。 ・千島住宅の集会所を活用しての定例講座を企画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止。話し合いの結果、参加人数を密にならないよう工夫をすることにより、1月からは高齢者の見守り活動を行っている地域関係者との相談会を毎月開催した。
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	全体としての相談件数は令和元年度3,764件→令和2年度4,273件と増加したが、地域関係者からの相談件数は横ばいという結果となった。新型コロナウイルス感染症の長期化について予測ができず、多くの活動を秋～冬の再開を目的に準備を進めてきたため、思うような活動に至らなかったことは反省すべき点である。しかし、どの活動においても開始/再開に向けての話し合いを関係者と進めたことにより、今あるつながりを維持することはでき、情報交換なども行うことができた。
今後の課題	経済・生活に関わる困難ケースが増えており、早期発見のためにも地域の支援者との連携、地域住民の気づきはますます欠かせないものとなっている。今後も地域での活動はしばらく見込めない状況が続くと思われるため、地域での小規模な会議等へ足を運ぶことで、地域住民との直接の繋がりを作るよう努めていく。
※以下は、区運営協議会事務局にて記入	
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和3年7月28日(水)
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性 (拡張性) <input type="checkbox"/> 専門性 <input type="checkbox"/> 独自性
評価できる項目(特性) についてのコメント	【地域】における認知症高齢者支援ネットワーク構築に向けた取組みが必要という課題に対し、認知症カフェ、出張相談会を開催することにより定着してきていたが、コロナ禍で認知症カフェや相談会などが開催困難な状態が続いたことが分かります。そこで地域関係者と話し合いを持ち、別の方法や再開に向けての話し合いや情報交換は高齢者支援ネットワーク強化に広がっていくことが期待でき、【浸透】が図られています。
*今後の取組み継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見	